

## 《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。



## 《沖縄協同病院医師研修理念》

- 基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。

病院長  
い どまり こう じ  
伊 泊 広 二

## 新年のご挨拶

病院を利用する皆さん、医療生協組合員の皆さん、新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症が5類へ変更になりコロナ前の社会生活へ戻りつつありますが、皆さんはいかがでしょうか。さて、病院運営は変わるものと変わらないものがあります。コロナ前と比べて変わるのは、以前のような自由な病院への出入りは出来なくなり、今後も一定程度制限が残るという事です。引き続き、一人一人が日頃の感染予防対策をしっかりと行い、病院での医療がスムーズに行えるようにご協力ををお願いいたします。また、沖縄協同病院は紹介受診重点医療機関になるための準備を始めております。「かかりつけ医機能」を協同にじクリニックやとよみ生協病院、医療生協の各診療所、周辺のクリニックや医院などに担ってもらうという事です。当院はかかりつけ医と連携を密にして、主に紹介患者さんや救急受診の患者さん、退院後しばらく治療が必要な患者さんの診療に重点をおいていきます。こうした診療を充実させるため数年以内に病院東側の駐車場に東館の建設を予定しています。本館改修も合わせて手術室や化学療法室、集中治療室などを整備します。さて、変わらないものもあります。それは病院を利用する皆さん、地域や医療生協組合員の皆さんの「声」を職員がしっかり受け止めより良い「わったー病院」を作り上げていく事です。「やさしい病院」を目標に職員一同頑張ってまいりますので、今年もご指導、ご鞭撻、ご協力をよろしくお願い致します。



「一生食べ物に困らないように」「健康で丈夫に育つように」という願いを込めて生後百日にお食い初めお祝いを行います。

沖縄ではお食い初めという儀式よりは記念写真を撮る事が一般的なようですね。当病棟入院中に生後100日を迎える患児がおられました。長期入院中でしたので写真館の予約をキャンセルしたという情報があり、師長「なんかしてあげたいね」、看護師「やりましょう」。

当日朝、医師のギター伴奏にあわせて、歌と拍手のプレゼント。自前の服からスタッフからの貸し服、看護師手作りの金太郎前掛けなど、たくさんの試着をし写真撮影を行いました。ここはスタジオア〇ス?鈴を鳴らして「ここよー」と誘導してくれる方、お着替えをお手伝いする看護師、たくさんのフラッシュ。

大きくなった時「こんなことがあったんだ」ときっと驚くでしょうね。ほんの少しの時間でしたが患児家族とスタッフも癒されたひとときでした。

4階病棟北 副主任 金城 祥子



心新たに 挑む たつの年

## 病院の活動状況 &lt;2023年11月度&gt;

- ・外来一日平均患者数：303人（前年同月比 -4人）
- ・入院一日平均患者数：245人（前年同月比 -5人）
- ・組合員利用分量(率)：56.7%（前年同月比 -3.6%）

## ACP (アドバンス・ケア・プランニング) ~最善を願い、最悪に備える~

いざまが  
203

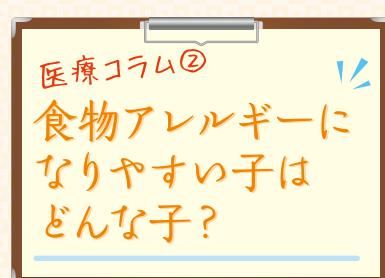
腫瘍内科より

突然ですが、皆さん  
は「自分の死」について  
考えたことはありますか？多くの方は、元気なうちに自分がいつどのように死ぬのかについて想像するには難しいと感じます。ご承知の通り、現在日本人の2人に1人ががんになります。3人に1人ががんでお亡くなりになるといわれており、がんは日本人の死亡原因第1位でもあります。治療技術や医器、薬剤の発展により、がん診療はめざしい進歩を遂げていますが、それでもまだ完全に克服することが難しいのが現状です。つまり、「がん」と告知された瞬間から、自身の「余命」が決まってしまった可能性があるのです。

ここで、私が日々患者さんにお話ししている言葉を紹介します、「最善を願い、最悪に備える」です。

進行がんと診断されたら、突然その生活が一変し、残された時間をどのように過ごすか、どのように最期をむかうか、それらのことを限られた時間で考えて、選択することを迫られます。そのため、予め自身がそのような状況になってしまった場合のことを想定して、希望と体力で考え、選択することを迫られます。そのため、予め自身がそのような状況になってしまった場合のことを想定して、希望する生活・医療行為について考えておくことがあります。またそれをご自身ひとりだけで考えるのではなく、家族や医療者を含む団の人たちで話し合っていくことができます。自分の最期を考えることはとても怖いことです。自分の最期を考ふべきことを真剣に考えることにつながります。是非お元気なうちからそのような話し合いを行い、なるべくご自身やご家族にとって思い残しが少ない人生をついていただきたいと願っています。

腫瘍内科(化学療法センター)医長  
安次嶺 宏哉



小児科  
酒井 一徳

(全4回)

前回は食物アレルギー児が増え続けている事について述べました。

今回はどのような背景があるお子さんが、食物アレルギーを発症しやすいかについてお伝えいたします。

その背景は大きく「遺伝」と「環境」の二つに分類されます。

遺伝要因の場合は両親のどちらか、もしくは両親共アレルギー体質(花粉症やアトピー性皮膚炎等)で、その遺伝子が子どもに引き継がれるというものです。

もう一方の環境要因について、数年前に「二重抗原曝露仮説」としてアレルギー界隈では大きく取り沙汰されました。

この説は、「荒れた皮膚から食物アレルギーの原因となる物質(アレルゲン)が入り込めばアレルギーを発症し、アレルゲンを口から摂るとアレルギーを予防する」という考え方です。

この説の発症に関して、頬や首に真っ赤な乳児湿疹を認めることが多い、生まれて数ヶ月の赤ちゃんを例に説明します。この荒れた赤ちゃんの肌に食物アレルギーの原因となるアレルゲンがくっ付く事が、食物アレルギーを促進させてしまう要因になるという具合です。

そして最新の研究では家庭の子どもの寝具ではすべからく鶏卵アレルゲンが検出される事が報告されています。

特に一日のほとんどを横になって過ごす赤ちゃんは寝具におけるアレルゲンの影響を大きく受ける可能性があります。

つまり、乳児湿疹がある赤ちゃんは食物アレルギーになりやすい可能性がある為、乳児湿疹を認めたら積極的に肌の状態を良くするよう、アレルギーも診る事ができる小児科を受診する事をお勧めします。

※「しんぶん赤旗」より転載

## とよみ生協病院 1月15日竣工 2月1日 移転予定



病棟3病棟にスマートベッドシステム導入(南部地区初!?)にてあたらしい治療・療養環境を提供します。



スマートベッドシステム端末イメージ

## NAHAマラソン救護班に参加して

12月3日に開催されたNAHAマラソンに救護班として参加してきました。雲が多い天気ではありましたが、時折晴れ間が見られて天気にも恵まれました。気温もあまり上がりずランナーにとっては走りやすいコンディションだったかと思います。

協同病院の救護班は24.5km地点に設置されました。

涼しい天候が幸いしたのか、ランナー中体調不良で来られる方はいませんでした。しかしレースが終わってほっと一息をついていたところ軽症の2名が搬送され、対応にあたりました。

今回救護班として活動させていただき、重度の熱中症対応を前もって緊張感をもって学ぶことができ、とても良い経験となりました。また、NAHAマラソンはとても活がありこの高揚した雰囲気を感じられました。このような貴重な経験を、今後に活かしていくかと思います。

1年目研修医 梶間 了



## 部署紹介

### ㉑救急センター



明けましておめでとうございます。今回は、救急センターの紹介をしたいと思います。

救急センターとは、急性心筋梗塞、脳卒中など生命に関する重篤な患者さんを救命し高度な医療技術を提供する医療機関の事です。救急センターとして重篤な患者さんの診療を行う事が使命ですが、地域に根ざした病院を目指し、かかりつけや近隣の患者さんは重症、軽症を問わず24時間受け入れています。

実績として2022年度は、約3800件の救急車を受け入れました。スタッフ持ち回りで行っている、月1回の勉強会を今後も継続し知識と技術習得に努め、「親切・安全・安心」の医療を提供できるよう励みます。

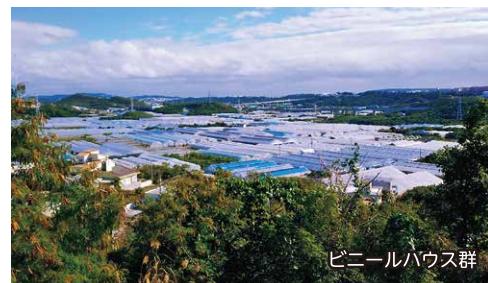
救急センター 主任(救急救命士) 比嘉 淳

## 委員会活動報告 20.RRS委員会

RRS=Rapid Response System(院内迅速対応システム)とは、患者さんの急な状態悪化を防ぐことを目的とし、早期に治療介入するための手段です。病棟からの相談や介入要請の依頼があれば迅速に現場に急行し、患者の評価(状態把握)と初期対応をおこないます。主に集中治療医師と集中治療室看護師が現場の相談や介入要請に応じています。

また、病状悪化の変化に対して早期に気づくことができる観察力や、心肺蘇生を含む急変時の対応力を向上させる教育活動も行っています。

ICU・HCU師長 町田 智香



日本人初の宇宙飛行士である秋山氏は宇宙から地球を見て「地球を傷つけないライフスタイルはないものか」との思いを強くし「自然との共生を求め、地移住と農家への転身を決意した」と振り返っている。ハルサーは地球を傷つけない誇るべき職業なのだ。

方言と言えば、もう30年以上前、妹に子どもが生まれたので母は身の回りの世話をするために東京に行つた。豚肉が一番滋養になると思っているのでスーパーに買い物に行つた。スライス肉しかないでレジで「ムルサー肉はないねー」と必死に口とジェスチャーで訴えたが通じなくて手ぶらで帰ってきたという。ムルサー(塊)は今では沖縄でも通じないだろう。以前ホテルでコーヒー時にストップの意味で「トートー」と言つたからその間に滔々(とうとう)と注がれてしまった。一口しか欲しくなかつたのに…。方言は話のネタには事欠かない。

死に口とジェスチャーで訴えたが通じなくて手ぶらで帰ってきたという。ムルサー(塊)は今では沖縄でも通じないだろう。以前ホテルでコーヒー時にストップの意味で「トートー」と言つたからその間に滔々(とうとう)と注がれてしまった。一口しか欲しくなかつたのに…。方言は話のネタには事欠かない。

死に口とジェスチャーで訴えたが通じなくて手ぶらで帰ってきたという。ムルサー(塊)は今では沖縄でも通じないだろう。以前ホテルでコーヒー時にストップの意味で「トートー」と言つたからその間に滔々(とうとう)と注がれてしまった。一口しか欲しくなかつたのに…。方言は話のネタには事欠かない。

死に口とジェスチャーで訴えたが通じなくて手ぶらで帰ってきたという。ムルサー(塊)は今では沖縄でも通じないだろう。以前ホテルでコーヒー時にストップの意味で「トートー」と言つたからその間に滔々(とうとう)と注がれてしまった。一口しか欲しくなかつたのに…。方言は話のネタには事欠かない。

ハルサーだより<sup>⑦</sup>

ソーハルサーになつて